なが

**第２回　新庁舎建設市民ワークショップ**

**活動記録**

日　　時：平成29年10月20日（金）午後6時30分～9時30分

場　　所：メルカつきまち5階ホール

参加者数：70名（市民47名、ファシリテーター10名、設計者13名）

主　　催：長崎市（企画財政部大型事業推進室／まちづくり部建築課・設備課）

　第２回目のワークショップでは、長崎市が進めるまちづくりに関する説明を行うとともに、グループワークでは、「機能・配置」「アクティビティ（活動）」「デザイン」の３つのテーマで設計案に対する多様なご意見をいただきました。

1. **第１回ワークショップの振り返り**
2. **長崎市が進めるまちづくりに関する説明**
3. **現時点での設計案の説明**
4. **グループワーク**
5. **発表**
6. **設計者からのコメント**
7. **長崎市からのコメント**

**プログラム**

**１．第１回ワークショップの振り返り**



はじめに、今回のワークショップの総合ファシリテーターである、長崎市景観専門監　高尾　忠志　氏から、本日の流れなどについて説明が行われた後、事務局より、第１回ワークショップの振り返りとして、主な意見や質問に対する長崎市の考え方についてご説明いたしました。

（１）市長挨拶

　　はじめに、主催者を代表して市長から、参加者の皆さんへの御礼と、これからのワークショップを通してたくさんの意見を頂けるよう期待している旨の挨拶を行い、ワークショップがスタートしました。

**２．長崎市が進めるまちづくりに関する説明**

****

主催者を代表して市長から、これからの長崎市のまちづくりの考え方やこれまでの市庁舎、これからの市庁舎の考え方、それを実現するためのテーマなどについて説明を行いました。

**３．現時点での設計案の説明**

****

総合ファシリティテーターである高尾氏より、今回のワークショップのグループワークにおけるテーマの説明が行われた後、設計責任者である株式会社山下設計の　筬島　亮　氏から現時点での設計案の説明が行われました。

設計者からは、広場の構成や市民の方が主に利用する低層階や、最上階展望フロアにおける市民利用スペースの平面的な構成、各フロアにどのような機能が配置されるかなどについて説明が行われました。

**４．グループワーク**



【新庁舎の「機能・配置」「アクティビティ（活動）」「デザイン」】

グループワークを行っていただく前に、「機能・配置」「アクティビティ（活動）」「デザイン」の3つのテーマのうち、各参加者が議論したいテーマを選択し、各々テーブルに分かれていただきました。

これまでの説明を受けて、各参加者が感じたこと、「こういう機能があったらいいな」「こういう風にしたい」などの具体的な意見を付箋に書き出していただきました。

また、30分程経過してからは、さらに他のテーマについても議論したい方は、別のグループに移動して議論を続けていただきました。

「機能・配置」について議論した参加者からは、「市民利用スペースの充実」「夜間も自由に利用したい」といった意見が出されました。

「アクティビティ（活動）」について議論した参加者からは、「広場でイベントやおくんちの練習がしたい」「広場で見知らぬ人とも語り合えるようにしたい」といった意見が出されました。

「デザイン」について議論した参加者からは、「長崎らしさを感じるステンドグラスを入れたい」「建物ではなく街並みをつくる」といった意見が出されました。









**５．発表**

グループ毎に今回出された意見をまとめ、それぞれ発表を行っていただきました。





**６．設計者からのコメント**

各グループの発表内容について、設計者から「たくさんの思い切ったアイデアや皆さんの強い思いが伝わってきました。いただいた意見をもとに、これまでを引き継いでいくものとさらにそれに加えていくものを考えながら設計を進めていきたいと思います。」とのコメントがありました。





**７．長崎市からのコメント**

最後に、事務局より各グループの発表内容について、「現段階の案はまだ決定ではなく、これからどんどん設計の中身を詰めていく中で、皆さんからいただいたアイデアを参考に設計案をお示ししていきたい。」とコメントしました。



